東海ノア
（東海 NOAH）

東海ノア通信

［原子力事業所安全協力協定］

第４８号（平成２４年６月発行）
東　海　ノ　ア　協　定　事　務　局
（原子力機構・原子力科学研究所内）
Telephone：029-282-5801
E-mail：t-noah@jaea.go.jp

東海ノア通信 第４８号 をお届けします。

東海ノアでは、今年度も加盟事業所の皆様方との相互協力をもとに、積極的に協力活動を進めていきたいと考えています。東海ノア通信では、こうした日頃の協力活動をよりわかりやすく皆さまに紹介しています。

なお、東海ノア協定に基づく活動状況は、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、http://tnoah.jaea.go.jp/ です。

〔トピックス〕

☆活動状況

- 活動推進幹事会の開催状況
- 自主保安に関する協力活動計画
- 自衛消防隊研修会に関する協力活動計画
- 情報等の交換に関する協力活動

☆加盟事業所からの事業所紹介

☆役員の変更

☆今後の主な活動予定

東海 NOAH：
「東海」東海村、「N」那珂市、「O」大洗町、「A」旭村（現鉾田市）、「H」ひたちなか市

☆活動状況

活動推進幹事会の開催状況

〇第５９回活動推進幹事会

- 開 催 日：平成２４年６月１１日（月）
- 開催場所：原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所
- 議 題：（１）第５８回活動推進幹事会議事録(案)について
  （２）第２６回安全協力委員会議事録(案)について
  （３）原子力事業所安全協力協定役員等の変更について
  （４）平成２４年度 第１回自主保安点検協力活動計画について
  （５）平成２４年度 自衛消防隊研修会計画について
  （６）平成２４年度 通報連絡訓練計画について
  （７）情報の交換に係る協力活動について
  （８）東海ノア通信第４８号の発行について
  （９） 原子力事業所安全協力協定に基づく緊急事態協力活動について
  （10）その他

〔第５９回活動推進幹事会の様子〕

自主保安に関する協力活動

協定に加盟している事業所を対象に、核燃料物質使用施設、放射性物質取扱施設等の安全担当実務者及び防火管理の担当実務者等からなる専門家を派遣し、安全管理について様々な観点から確認、意見交換を行い、安全管理の向上に役立てるための活動を行っております。

平成２４年度第１回目の活動は、「日本原子力研究開発機構 那珂核融合研究所」を対象に、７月下旬の実施を予定しています。

点検協力活動の様子は、次号にて紹介いたします。

自衛消防隊研修会に関する協力活動

今年度で第４回目となる自衛消防隊研修会は、昨年度同様、茨城県立消防学校において、平成２４年９月２７日（木）に開催を予定しています。

今年度は、カリキュラムを少し変更し、午後の半日で実働訓練を行う計画にしています。協定加盟事業所へは、開催日が近くなりましたらお知らせをいたします。

情報等の交換に関する協力活動

協定加盟事業所等より以下の１１件の情報提供がありました。

ご提供いただきました全ての情報につきましては、協定加盟全事業所に配信いたしました。

○プレス発表された事故、トラブル関連情報

事業所	情報提供日	件名
日本原子力発電（株） 東海第二発電所	平成２４年 ４月　３日	東海第二発電所　取水口エリア北側ポンプ槽における火災発生について　（原因・対策）
日本原子力発電（株） 東海発電所	平成２４年 ４月　６日	東海発電所　固化処理建屋屋上冷却塔からの火災発生について（原因・対策）
日本原子力発電（株） 東海発電所	平成２４年 ４月１９日	東海発電所ダストサンプラー配管での開孔確認について（ホームページ掲載のお知らせ）
日本原子力発電（株） 東海発電所	平成２４年 ５月　７日	東海発電所放射性廃液処理系上澄液タンク(A)水位低下事象の点検状況について（中間報告）
日本原子力発電（株） 東海発電所	平成２４年 ５月　７日	東海発電所における配管等に係る総点検について
日本原子力発電（株） 東海発電所	平成２４年 ５月　９日	消火用ディーゼルポンプ（非管理区域：屋外）ギヤボックスのシャフト貫通部付近からの発煙について　（ホームページ掲載のお知らせ）
日本原子力発電（株） 東海発電所	平成２４年 ５月３１日	東海発電所における配管等に係る総点検結果の報告について（中間報告）
日本原子力発電（株） 東海発電所	平成２４年 ６月　６日	生体遮へい冷却空気排風機の出口側ダクトの開孔確認について（ホームページ掲載のお知らせ）

〇その他の情報

事業所	情報提供日	件名
青森県内原子力事業者間安全推進協力協定	平成２４年４月２３日	「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」に基づく活動実績の青森県への報告およびＨＰアップについて
日本原子力発電（株）東海・東海第二発電所	平成２４年４月２７日	平成２４年度 東海発電所・東海第二発電所の年間主要事業計画について
日本原子力発電（株）東海第二発電所（敦賀発電所）	平成２４年５月３１日	東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への 地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施状況について

☆協定加盟事業所からの事業所紹介

東海ノア通信では、協力協定加盟事業所間の相互理解を図ることを目的に、安全活動への取組状況等について各事業所からの紹介記事を掲載しています。

今号では、「住友金属鉱山株式会社 エネルギー・触媒・建材事業部 技術センター」からの紹介です。

―∽―∽―∽―∽―∽―∽―∽―∽―∽―∽―∽―∽―∽―∽―∽―∽―∽―

『当センターの安全の取り組み』

住友金属鉱山株式会社
エネルギー・触媒・建材事業部　技術センター

当技術センターでは、放射性物質の溶媒抽出法による分離、精製に関する技術開発、ウランで表面汚染された金属等の廃棄物を処理する技術開発に取り組んできました。現在は、試験研究に使用した施設・設備の維持管理・安全点検を行うと共に、不要になった試験研究・開発施設や設備の解体を実施しています。

当センターの組織は、事務全般を行う管理グループ、管理区域建屋を含む施設の管理を行う施設管理グループおよび放射線管理等を行う安全管理グループの 3 グループから構成されています。

安全に関する体制としては、技術センター長のもと安全衛生委員会、安全専門委員会をおき、技術センター全体の安全に関して審議を行っています。

当センターでは、自主的に「保安管理規程」定め、その中で核燃料物質の使用に係

る保安上の職務・組織を運用しています。また、弊社はコンプライアンスを徹底し、PDCA を回してコンプライアンスの維持管理に努めるとともに、弊社全グループがISO14001 認証取得に取り組むことにしました。当センターも 2002 年 3 月 9 日付けで ISO14001 認証を取得し、認証取得後も毎年認証の更新を継続し、年間計画に従って、環境教育、環境文書の見直し等の活動を継続しています。

教育・訓練計画については、当センターでは「教育訓練実施要領」を策定し、教育訓練計画の詳細を定めています。また年 4 回の全体教育訓練では、当センター員が持ち回りで講師を務め、訓練終了後には、効果の確認テストも実施しています。テストの結果は、教育資料、教育訓練記録とともに保管しています。また、前年度の反省を踏まえ、講義および確認テストの内容を見直し、教育管理責任者が教育訓練計画に反映させています。

当センター内で、新規作業を実施しようとする場合には、「安全管理計画書」を作成し、安全専門委員会において審議した後、センター長の承認を得なければなりません。承認された安全管理計画書は関係者に周知・徹底しています。その後、それらの新規作業に着手するときには、安全専門審査会で許可された「安全実施計画書」の内容に従って実施されることを確認しています。また許可変更の必要性やその可否に関しても、安全専門委員会で審議し、許可事項の内容の整合性を確認しています。

施設の保守管理については、防火管理上の点検および設備からの液漏れ等の点検を、管理区域内外について毎日１回センター員で実施しています。それら点検の結果不具合箇所が発見された場合は、防火推進責任者または作業責任者に事態を連絡し、対応することになっています。

リスク管理(火災防護等)については、当センターには、消防法上の少量危険物貯蔵所に該当する区域があるため、これら区域内の基準に応じた設備・機器の管理を行っております。また、当センターでは、自主的に防火管理者に準じる防火推進責任者を選任し、当センター全般の防火対象物、消防用設備、火気使用施設等を適正に管理しています。

一方緊急時の対応では、2 ヶ月に 1 回の頻度で無告知で緊急時の呼び出し対応訓練を実施するなど、緊急時対応に備えています。

最後に、当センターでは、全従業員が安全意識の向上を図りながら、日々の作業に従事しています。今後とも、地域の皆様ならびに東海ノア協定加盟事業所の方々のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

☆役員の変更 〔平成２４年４月１日付け〕

原子力事業所安全協力委員会

	（新）	（旧）
副委員長	大山 幸夫 日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター 核燃料サイクル工学研究所　所長	上塚　寛 同 左
委 員	岡本 孝司 東京大学大学院工学系研究科 原子力専攻長	上坂　充 同 左
委 員	打越 聖次 財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター　所長	中島 幹雄 同 左
委 員	東海林　敦 株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所　所長	鈴木 克典 同 左
委 員	森　雅博 日本原子力研究開発機構 那珂核融合研究所　所長	二宮 博正 同 左

活動推進幹事会

	（新）	（旧）
幹事長	山口 武憲 日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所　保安管理部長	奥　武雄 同 左
幹 事	吉廻 智江 東京大学大学院工学系研究科 原子力専攻 原子炉管理部特任助教	齊藤　勲 原子炉管理部長

☆今後の主な活動予定

- 平成２４年度 第１回自主保安点検協力活動・・・・・・・・・　７月
- 平成２４年度 第１回安全教育研修・・・・・・・・・・・・・　９月
- 平成２４年度 自衛消防隊研修会・・・・・・・・・・・・・・・　９月
- 第６０回活動推進幹事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９月
- 第２７回安全協力委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０月

〔編集後記〕

東海ノア事務局がある原子力科学研究所構内の松林の中には、茨城県レッドデータブックで絶滅危惧種に指定されている“オオウメガサソウ”の生育地域（保護区域）があり、開花時期を迎えています。

オオウメガサソウは、北半球の冷温帯から亜寒帯を中心に分布し、日本では、北海道、青森県と国営ひたち海浜公園など、ごく限られた場所に自生するとても貴重な植物で、主に、日当たりの良いアカマツ林の林床の貧栄養な砂質土壌に地下茎を伸ばして生育し、高さ10cm ほどの茎の先に、直径1cm 程度の淡いピンク色の花を咲かせます。

開花はまだまだばらですが、松林の中に淡いピンク色の花が広がるのは、もう間もなくといった様子です。

東海ノア通信の目的である「情報の交換・共有化」を行いながら、皆様の参考となるよう更に充実図っていきたいと考えています。事務局へのご要望等がございましたら、忌憚のないご意見をお寄せください。

東海ノア通信

東海ノア
（東海 NOAH）